

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ金沢黒田教室				公表日	令和7年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		毎日頭を悩ませています。適正人数を厳守しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		車いす対応は出来てはいない、該当児のお問い合わせが来た時は、対応可能な事業所に直に電話確認したり等、している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		興味関心のある玩具を整えるように心がけている。	玩具の消毒を定期的にする必要がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室を開放している。必要に応じて支援員とのマンツーマン時間を提供している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			振り回りの時間をもう少し丁寧にしたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		今から取りかかるところ。行います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の打ち合わせ・定期的なケース会議の他に、ミーティングを必要な時に随時行い、職員の共通理解を保つ時間を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者委員会の設置無し。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		他の事業所への見学の機会など、違う視点で考え学ぶことの出来る時間を持つことが出来ている。	1.2回/月の全体研修が定期的にある。午前中のご利用児童がすこしづつ増えてきたので、リアルタイムの全職員の受講がなかなか難しくなっている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPでの掲載をしている。カラーの色分けをして、誰でも見やすいように工夫している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース会議を都度行っている。正規の職員は全員参加している。	非正規職員の参加を検討。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		ケース会議を都度行っている。正規の職員は全員参加している。個人ファイルは職員が自由に見ることの出来る所に置いてある。(施錠可能なキャビネット内)		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		長く通所してくれている子どもに依って、同じプログラムにみえて実は違う切り口でのアプローチを試したり、等職員間で話しながら提供している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日13時からミーティングをしている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎が終わり次第職員間で話して居る。非正規職員にも共有出来るように引き継ぎノートも作成している。当日の打ち合わせが難しい時は翌日に行きようとしている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員の中でお子さまの担当を決めており、その会議に児発管と共に参加している。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		職員の中でお子さまの担当を決めて、モニタリングに参加している。職員間での会議をし、都度見直しをしている。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		お子さまの状況により、希望やニーズがあれば連携をとり、会議の参加もしている。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		お子さまの状況により、平行利用を積極的に勧めている。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要時に行っている。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				来年度より、積極的に連絡をとる体制を整えている最中である。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		天気の良いときには地域の公園に良く行く。地域のお子さまと一緒にあそぶ事の出来る環境と提供することに努めている。	園と関わる事がなかなか難しいところではあります。尽力します。		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		金沢市からのイベントおしらせや、福祉団体主催のイベントなどの状況提供をしている。	もう少し回数を増やすことも検討している。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		担当者会議を開催し、相談支援専門員さんと共に言葉の相違が無いかを確認しながら行っている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		横のつながりを作る事が出来るように、ご家族参加型の夏祭りイベントを毎年開催している。冬には年越しうどんのイベントをしたところ。	次年度はもう少し回数を増やすことを考えている。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れがあった際は職員会議を開き、改めるところは改め、良くなりうるように努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタを活用している(週1配信) 毎月かわら版を発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ハロウィン・クリスマスなど、地域のみなさんと関わる事の出来る行事を計画している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		年間計画を作成し、担当の職員を決めて計画的に行うように努めている。	遅れが見られるときがあるので、しっかりとした実施を心がける。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年間計画を作成し、担当の職員を決めて計画的に行うように努めている。	遅れが見られるときがあるので、しっかりとした実施を心がける。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	該当児居ず。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年間計画を作成し、担当の職員を決めて計画的に行うように努めている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		もしもの時の引き渡しカードも作成している。2年ごとに作りなおしをし、毎年1回見直しをご家族に向けて行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		共有し、都度会議を行っている。	ヒヤリハットをもう少し気軽に書くことの出来る環境を整えたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		該当児なし。	